

G T 保育環境セミナー Q & A

第 32 回～第 43 回質問集

第 3 号 2017 年 3 月 20 日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

【目次】

保育士の対応 p2～

保育環境 p6～

年齢別保育と異年齢児保育 p11～

行事 p14～

食育 p15～

保護者 p16～

気になる子 p17～

この質問あなたなら、何と答えますか？

これまでに G T 保育環境セミナーは 43 回開催し、今年度も 3 回の開催を予定しています。その中で、過去のセミナー内で取り挙げた質問内容は第 32 回～第 43 回までで 120 個になります。セミナー内では取り挙げきれなかった質問も多く、それも含めると 200 を超える質問数です。

中には似たような質問もあり、先生方の共通の悩みや課題でもあることを感じます。ただ、年々その質問内容が深くなり保育実践も同時に濃くなってきていることを表しているようです。

※G T：保育環境研究所ギビングツリー

駒沢こだま保育園の石田園長はこの質問集を見て「うちの園のリーダーに質問を投げかけたら何と答えるだろう～」と仰っていました。

また、いるま保育園の小川園長は「奥山くん、この質問に全部答えられたら G T の保育園の園長になれるよ！(笑)」 「G T の園長同士が答えられるか質問し合ってもいいね！」と様々なアイデアも飛び出しました。

確かに、質問を読んでいるだけでも「自分だったらどうするだろう？」と考えてしまいます。答えがあったらその通りにやってみることもできますが、子どもたちを見ていると「一人ひとり本当に違う」そんなことを思います。子どもたち一人ひとりに寄り添う保育だからこそ、答えは一つではなく、答えは何通りもあるからこそ悩みは尽きないのかもしれない。

次ページからセミナーと同様に、【保育士の対応】【保育環境】【年齢別保育と異年齢児保育】【行事】【食育】【保護者】【気になる子】の 7 項目に分類しています。過去のセミナーの質問ですが目を通すだけでも今日の保育を考えるきっかけになるかもしれません。保育の悩みの答えは目の前の子どもたちにある！質問集を読み終えた 45 分後にそんなことを思いました。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)



2013年度 第32回～第34回
保育環境セミナーパンフレット



2013年度
GTサミットパンフレット

保育士の対応についての質問

1.私の園は時間に促われているせいか、子どもたちを動かすという援助になってしまっています。今回見守る保育が子どもの自主性を大事にする事の大切さを学びましたが、すぐに始めること、実践することは難しいと思いました。どうしたらいいでしょうか。(第35回)

2.友たちとの関わりの中で遊びがエスカレートすることがあります。3歳のT君がトイレから出ようとしたとき4、5歳二人がTくんの子の反応を見て面白がって、トイレのドアを閉めてTくんを出そうとしない。Tくんも嫌とは言わない。そんなとき保育士として相手の子が嫌がっていたらその場で止めに入ってしまいます。しかし本来の見守る保育としてどこまで見守るべきか、どういう対応が子どもに伝わるのかアドバイスをお願いします。(第35回)

3.ベテラン保育士の声掛けが必要以上に多く今まで違う保育をやってきたこともあり、中々対応を変えることが出来ないようで意識はしているものの声も大きくなってしまいます。職員の意識はどのように変えていけばよいでしょうか。(第37回)

4.子ども(乳児)に対して、子ども同士の関わりを持たせるにはどのような対応をするべきですか。また保護者がどの程度子どもに手を加えて配慮したらいいでしょうか。(第37回)

5.チーム保育を行う中で、性別、年齢、性格など多様な人がいる中で新宿せいが保育園ではどのように共通理解を持てるようにしていますか。私のクラスでは1日15分～30分は振り返りをしています。会議やミーティングなど工夫している点があったら教えてください。(第37回)

6.お店屋さんごっこに向けて各クラスで出店する店での商品づくりをしました。3～5歳合同で取り組み、今年度は商品づくりはやりたい子は楽しそうですが、やらない子も半分いて複雑な気持ちです。自分たちで試行錯誤し協力して作ったものを売るという楽しさ、達成感を味わって欲しいという



2013年度
第9回 リーダー研修パンフレット



2013年度
職域別セミナーパンフレット

気持ちもあります。一人ひとりが満足できる環境を整えるために、どのような準備期間を過ごしたらいいのでしょうか。(第37回)

7.片付けをする子は毎回するが、しない子は全くしません。片付けはさせないといけないのでしょうか。(第38回)

8.これからクラス環境を変更する予定です。1歳児クラスの子どもが落ち着かず、室内を走り、遊んでいた玩具を片付けず床に置き次の玩具に行くという姿が見られます。どのようにすればいいのでしょうか。(第38回)

9.玩具の取り合いで貸してあげることと、我慢することのどちらを優先すべきか迷うことがあります。(第38回)

10.子ども同士、問題を解決するという、以上児の対応は「なるほど」と思えるのですが、未満児にはどうしたらいいのか悩んでいます。現在2歳児を担当していて、対応は保育士の立ち位置が知りたいです。(第38回)

11.1歳児の子なのですが、最近お友達の物を取りに行ったりします。その後の行動を見守ろうと思ひ、見守っていたところ、今度はお友達を押したり、服を引っ張ったりと危険な行動をしたため注意し、その時は「うん、うん」と頷いていました。その子自身、いけないことと分かっているにもかかわらず繰り返しています。そんな子に対してどう言葉掛けしていいのか、それとも子どものケンカを子ども自身で解決させたほうがいいのでしょうか。また、トイレに自分で行きたいと思う時に行けるようになるには、どのようにトイレトレーニングをしているのでしょうか。(第38回)

12.移行保育の方法を教えてください。2歳児クラスから3~5歳のチームへどのようにしていますか。(第38回)

13.片付けをしたくない、おむつを履きたくないという2歳児に対して、どういう風に見守っていますか。いつまで待っていますか。(第39回)

14.やりたくないことはやらなくなったりしないのですか。子どもがどうやったら片付けができるのか、どのようにしたら片付けしやすいのか教えてください。(第39回)

15.噛みつきがあった時やどうしても子どもたちに伝えたいときの言葉掛けや対応に戸惑ってしまうので、アドバイスなどがあればお願いします。(第39回)



2014年度 第35回～第37回
保育環境セミナーパンフレット



2014年度
GTサミットパンフレット

16.見守っていい範囲はどのあたりなのか。声を掛けるタイミングは。(各年齢によって) (第39回)

17.345歳児の協調性、けじめなどどうやって身につけていきますか。働きかけ遊びや生活の中で身につくのですか。(第39回)

18.現状指示することが多く、どこまで教えたり知らせればいいのか。初めてすることに対しての子どもと保育士との距離間はどれくらい持てばいいのですか。(第39回)

19.環境として見守る保育は取り入れています、職員の認識関わり方がバラバラです。園長はしきりに「見守る保育はメソッドではない、指針や要領に基づいた保育だ」と言いますが、現場の保育士はどうしていいのかわからず戸惑っています。(各チーム内で話し合いますが、方法論で終始してしまいます。また、保育方法などが全てトップダウンになっています。)(第39回)

20.01歳から子ども同士の関わり合いを大切に、一緒にいると噛みつき、ひっかきが起こります。噛みつき、ひっかきも発達の一過程というのは分かるのですが、その行為をどのように受け止め Do See Planとして展開したらよいか教えてください。(第40回)

21.この子なら大丈夫と思っていても、人数が増えるとトラブルが起こる可能性が増えると思います。私の園ではひっかき、噛みつきが起こった後の対応策としては、子どもから目を離さない、子どもに背を向けないとなることが多く、結局目が離せないという状況が変わりません。対策はこういうことなのかなと思うのですがどのようにすればいいのでしょうか。(第40回)

22.担当がいなくなる延長保育時間など、普段しない机に登って立ってしまったり、担当がいなくての子どもの姿はどのように対応すればいいのでしょうか。(第40回)

23.子どもとの距離間、手を差し伸べるタイミングが難しいと感じました。立ち位置や見守る環境の中で最も大切にしていることは何ですか。(第41回)

24.見守る保育を実践していくにあたって、具体的にどのように保育士として務めなければならないのですか。また、してはいけないことをあげてくださると嬉しいです。(第41回)



2014年度 GTサミット
講師：三池様 「睡眠について」

25.職員は「見守っている」イメージですが、実際は「見ている」「放任」していると保護者から言われ悩んでいます。どう指導していけばいいでしょうか。(第41回)

26.01歳児、乳児に対する噛みつきや、手が出やすい子への「見守る保育」はどこまで見守ればよいのでしょうか。(第41回)

27.噛みつきや他児の髪を引っ張るなど、自分の思い通りにならないと攻撃的になる子の対応の仕方と、された子のフォローの仕方をアドバイスして頂きたいです。(第41回)

28.どうやったら自制心が育つのでしょうか。(第41回)

29.0歳児の時に自制心の脳が大きくなるということですが、何をしたらいいのでしょうか。(第41回)

30.自制心を付けるための0歳児への環境と配慮を教えてください。(第41回)

31.今年4月に始まったばかりの保育園で、345歳の担任をしています。3歳15名、4歳6名、5歳3名です。半数以上が家庭保育からの入園でやっと生活に慣れ友達同士の関わりが増えてきたところですが、まだ保育環境も整えておらず試行錯誤しています。見守る保育をするに当たり何から始めたらいいのでしょうか。(第42回)

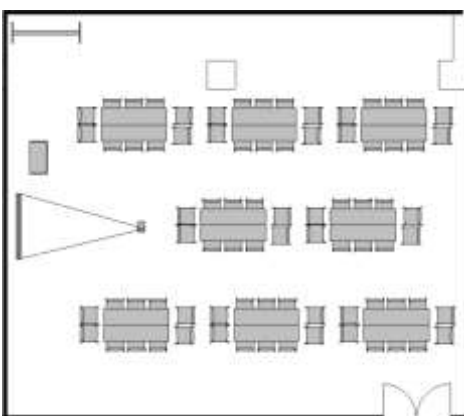
32.喧嘩をしている子どもたちに仲介に入らず見守ることは実践しています。しかし、2歳や1歳の時期は噛みつき、ひっかきが多くあります。噛みつき、ひっかきで相手に傷つけた場合の対応例と保育士の心構えを知りたいです。(第42回)

33.子ども同士のトラブルは子ども同士で解決と仰っていましたが、もし子どもの方から保育者に助けを求められたら、こういった声掛けをしていますか。また「死ぬ」「殺す」等の言葉が幼いうちから飛び交っている印象です。そういった言葉の使用、言葉遣いについてはどうお考えでしょうか。(第42回)

34.見守る保育の中でどこまで保育士は援助してよいか。できる子はいいができない子はどうか見守り関わっていくのか。見守る保育の中で平等に子どもと接するために気を付けていることは何か教えてください。(第43回)



2014年度
第10回リーダー研修パンフレット



2014年度 リーダー研修
会場レイアウト



2014年度

職域別セミナーパンフレット

35.保育士になって間もなく見守る保育を実践しようとしていますが子ども同士のトラブルや手伝ってと子どもに言われたときどこまで手を出していいかその線引きに苦労しています。保育者はどの程度まで手助けをしていいものなのでしょうか。(第43回)

36.0歳児男児で私に特になついて、見つけると泣いて寄ってきます。先輩に「依存しているから距離を考えて」とアドバイスをもらいました。一人で遊んでいるときは別の仕事をしたり、抱っこ来ても好きな遊びと一緒にして少しずつ離れて、自分のポジションに戻ったりしています。その子が求めてくるなら受け入れてあげたいですが、先輩がその度に「また」という指摘をされます。どのように対応したらいいのでしょうか。(第43回)

保育環境についての質問



2015年度 第38回～第40回

保育環境セミナーパンフレット

1.見守る保育に向けて動き出したばかりです。取り掛かったばかりで悩みの中にいます。いろいろ試してみて、手探りの状況の中で気をつけなければならない注意点について「環境」「異年齢児」「保育者」の3つの視点から教えていただければと思います。(第32回)

2.どのようなコーナーを作ることで子どもの興味を引くことができますか。また、保育者同士でどのような取り組みをすればより良い保育を作ることが出来ますか。(第32回)

3.制作コーナーで紙を用意していますが、各々絵を書いたり飛行機にしたりはさみでいろいろな形に切っていますが、失敗したからといって元の場所に戻したり、ゴミ箱に捨ててまた新たな紙で製作しています。お集まりで紙がもったいないから捨てたりしないでおうちに持って帰ろうねと伝えていますが、なかなか出来ていません。どうしたらいいですか。また、制作ゾーンで遊んでいて片付けをしないまま次へ行き、片付けはその子にさせたいのですが次の行動(遊び)が終わってから声掛けをすべきなのでしょうか。(第32回)

4.環境が子どもにあっていないとなると、部屋全体の家具をほぼ全部変えることが多いです。家具全部を変えたほうがいいのか、ある程度ゾーンの場所は決めゾーンの中身を発達に合わせたほうがいいのか。(第32回)

第40回保育環境セミナー 参加アンケート

この度は、保育環境セミナーにご参加いただき感謝にまみれています。今後の保育環境セミナーの企画にあたって頂きますので、お手数ですがアンケートにご回答下さいませようご協力をお願いいたします。

1. 今回のセミナーへの満足度を教えてください。
 [満足度] 5つのポイントに付けて下さい。また、その理由も記載ください。
 ① たいへん満足 ② たいへん満足 ③ 満足 ④ やや不満 ⑤ 不満

2. セミナープログラムでよかった内容に○を付けて下さい。(複数選択可)
 [内容] 基礎講座 見学施設紹介 GT最新報告
 [注目] 5つのポイント 実践事例 フォト紹介 ディスカッション 質疑応答

3. 見学施設について、良かった点があれば記載して下さい。(題目に見学された方のみ)
 [見学施設] 新居中央保育園 / さいごの森保育園 / 香取保育園 / 早ノ原保育園
 橋本りんご保育園 / 福美保育園 / 藤本こども保育園 / 新居の森保育園
 子どもの遊びの広がりを感じた施設はありますか。/ 園舎の広さや設備の良さを
 感じました。

4. 今回のセミナーを知った経路はありますか。
 園長先生から / 先生から / 園舎から

5. 目標とする保育を実現しているところはどこですか。
 コーナー / 園舎 / 園舎から

6. 目標の園舎あるいはあなたの保育の課題は何ですか。
 子どもの遊びの広がり / 園舎の広さや設備の良さを

7. もっと学びたい内容を教えてください。(セミナー限りではありません)

8. 今回のセミナーで一番大きな気づきは何ですか。
 今回のセミナーで一番大きな気づきは何ですか。

2015年度 保育環境セミナー
第40回セミナーアンケート

2015 GTサミット

世界標準の保育をめざして。

保育士と共働きで働くママは、同じ悩みを抱えている。子育てと働き、両立するために、保育士と共働きママの悩みを解決する。2015年度の保育環境セミナーを開催します。

開催日時：2015年8月24日(日) 25日(月)
 会場：TKPオーシャンシティ智恵
 GT会場費 600円
 会場費 17,000円 (会場費 5,300円)

申し込み締切日：2015年8月10日(水) 18時迄
 申し込み方法：お申し込みは、お申し込みフォームから
 三浦雅久氏 講師「子どもの睡眠と発達」

お申し込み先：2015年度 GTサミット事務局
 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
 03-5561-1111 (受付時間：平日 10:00~18:00)
 03-5561-1112 (受付時間：平日 10:00~18:00)
 03-5561-1113 (受付時間：平日 10:00~18:00)
 03-5561-1114 (受付時間：平日 10:00~18:00)
 03-5561-1115 (受付時間：平日 10:00~18:00)

お申し込み先：<http://www.givingtree.jp>

2015年度
GTサミット セミナーパンフレット

5. コーナーを作る際に死角はどのようにして考えればいいのでしょうか。(第32回)
6. 異年齢のチーム保育をする上で理想の人数編成はどれくらいでしょうか。(第32回)
7. 写真を靴箱に貼ったりされる利点は、子どもが見やすくわかりやすいためでしょうか。(第32回)
8. 同じ遊びをずっとしています。自分で選んだ遊びだからいいと思いますが、運動遊びが好きな子はずっと運動遊び、制作遊びが好きな子はずっと制作。もっとまんべんなく遊びに関わって欲しいと思ってしまいますが、ほかの遊びに誘ったりしてもいいのですか。どういうふうに考えればいいのでしょうか。(第33回)
9. 日々、保育環境整備に保育士で話をしていますがなかなか落ち着きません。子どもの興味があるように工夫はしていますが扱いが雑で、遊びをもっと展開していきたいと思っています。鉛筆が落ちたり、絵本がぐしゃぐしゃになっていたり子どもたちのやりたい放題になっています。騒がしく、子ども同士のトラブルも多いことから環境整備が必要だと感じています。子どもが遊び込むためのヒントが欲しいです。(第33回)
10. 運動遊びが苦手な子、お絵かきが苦手な子、苦手な子に対してどうすればいいのでしょうか。(第33回)
11. 狭い保育園での保育環境のつくり方についてです。新宿せいがさんを見学させていただき、ゾーンの多さに驚きました。自分の園ではゾーンが5つほどですが多くあったほうがいいのでしょうか。また新しいゾーンはどう作っているのですか。(第34回)
12. 保育室がワンフロアで遊食寝を分けています。環境設定が難しくベースはいつも同じになってしまいます。天井装飾はどのような効果があるのか教えてほしいです。(第34回)
13. 異年齢保育の中で2歳児を年齢別に保育している理由を教えてください。1, 2歳児の合同保育はよくないのでしょうか。(第35回)



2015年度 GTサミット
講師：吉田様、上田様
「見守る保育について」

14.自園の01歳児クラスでは部屋の中に玩具が散らばっていることが多く、歩いていると転んでしまいます。子どもがそのゾーンにいないときは、全て保育者が片付けているのですが、子どもたちに玩具を大切にしてほしいという思いや片づけてほしいという願いがあり「ないないしようか」と遊びの終わりに誘うように心がけています。でも、そのままどこかに行ってしまうたり、バラバラにしたりその言葉掛けで泣いてしまったりという姿があります。子どものストレスになっているのかなと思いつつ、最近では遊ばずに玩具を出してどこかに行ってしまうことがあります。どのような環境にしたり、言葉掛けを行ったらよいでしょうか。(第35回)

15.遊食寝を分ける広さが無い時の工夫点があれば教えてください。
(第37回)



2015年度 GTサミット
地域実践報告

16.私の園は狭いため、遊食寝のスペースが同じ場所になっています。(布団を敷くためにコーナーをつぶしている) 子どもたちが落ち着いて過ごせるように試行錯誤している日々です。狭い空間でも情緒が安心して過ごせるアドバイスがあればよろしくお願いします。(第37回)

17.2歳の担当をしています。保育スペースの関係で、どうしても室内での「運動遊び」「おままごと」「楽器遊び」などの動と「食事」や「睡眠」といった静の場所が一緒になってしまい、子どもたちにもわかりづらい環境になっているのではないかと感じています。例えば運動遊びでは、思いっきりジャンプしたり体を動かしてほしい、子どもたちものびのびとやっていますが、ひとたび運動遊びが終わると今まで体を動かしていた場所が「走ってはいけない」スペースになってしまいます。子どもたちが走らなくてもよい環境を作るべきなのだと思いますが、その後その場所でマットを広げ午睡をすると思うと思いきった環境にもできません。どうしたらいいでしょうか。(第37回)



2015年度 GTサミット
世田谷保育課
「世田谷区の現状について」

18.子どもたちが落ち着かず、やりたいことを見つけられず興味がコロコロ変わったりして遊びこめていません。遊びこめる環境づくりはどのような工夫をしたらよいでしょうか。(第37回)

19.小規模園です。2歳児クラス9名の担任をしています。雨の日など室内遊びで子どもたちは友達との関わりを今とても楽しんでいるため、互いに遊びを誘ったり友達の姿を見て遊びに参加しています。しかし仲がいいあまり



2015年度
第11回リーダー研修パンフレット



2015年度 リーダー研修
講師：明和様 「乳児について」

に、ほぼ全員がコーナーに集中してしまうことがあり、トラブルも起きやすいです。ままごとの場所を広くしてみたり工夫しているのですが室内の大きさにも限界があります。3～5歳児クラスへ行くことはありますが、雨の日の中は、2歳児は独立して過ごすことが多いです。コーナーを増やし選択の幅を増やしてみましたが、集団で動いていることが多いです。しかしコーナーを増やすと、一つひとつの場が狭くなってしまいますので、一つのコーナーを広くする方を優先した方がいいのでしょうか。小さい園での環境づくりについてアドバイスをお願いします。(第40回)

20.成長展で0～5歳児までの共通の取り組みとして「科学」について取り上げるのですが、01歳児の部屋で「科学」に関するものを置くとしたらどんなものいいのでしょうか。(第40回)

21.午睡の時、保育士が寝かしつけないと絶対に寝ない1歳児が一人います。給食を食べ終わると、その子は部屋を走り回っています。この子は遊びたいと言いますが寝かしてもいいのでしょうか。(第40回)

22.やりたいことを自分で選べるようにと、折り紙や絵を描く紙を手の届く場所に置いているのですが、ぐちゃぐちゃにして終わってしまったり、拵げて片づけないということも多いです。置き方やそのスタイルになれることを待つのも大変だと思うのですが、何か具体的に必要なことがあれば教えて頂きたいです。(第40回)

23.パーテーションなど空間を区切るものが少なく、01歳児の保育室で玩具がぐちゃぐちゃと散らかってしまい、遊んでいる子の邪魔になる様子が多いです。どのような空間を仕切ればいいのでしょうか。(第41回)

24.新宿せいが保育園に見学させて頂きました。幼児クラスで子どもが先生と遊ぶ姿が見られませんでした。その姿になるためには、01歳児クラスでの子ども同士の関わりが大切だとお聞きしました。私の園でも01歳児クラスを重視し保育をしていますが具体的にどのような関わりをしたらいいのでしょうか。(第42回)

25.幼児クラスでお話を聞くことが出来ない子が多くいます。この場合やはり01歳児クラスでのことが影響しているというお話でしたが、この点での乳児期の関わり方をお聞きしたいです。(第42回)



2015年度
職域別セミナーパンフレット



2015年度 職域別セミナー
実践発表：GT東京食育部会

26.ゾーンの環境づくりで気を付けていることはありますか。(第42回)

27.片付けを子どもたちにどのように伝えていますか。(各年齢別の対応)
(第42回)

28.遊びのゾーンでのルールなどがありますか。(第42回)

29.01歳児でチーム保育を行っています。発達の差が大きい集団を3チーム0歳(低月齢)、01歳(高月齢)に分けて活動しています。自由遊び(朝夕)の時の環境ですが、ゾーンで囲ってしまうと選択できない環境になってしまったり、自由に行き来すると遊びこめない(高月齢の子が)ことがあります。混雑している現状があります。どのようなことに気を配って環境を整えればいいでしょうか。(第42回)

30.01歳におけるゾーンづくりが難しいです。ポイントやアドバイスをお聞きしたいです。(第42回)

31.ゾーン保育のねらいはどのように考え、また記録はどのようにしているのでしょうか。(第43回)

32.ゾーンの使い方がまだまだ確立されず遊びこむことが難しいのが現状です。ゾーンの開閉のポイントや環境を構成されるうえで大切にされている点がありますか。(第43回)

33.1歳児クラスの子どもが隣の0歳(ハイハイスペース)のところへ行きたがります。上手に遊んでいる子もいますが、ダイナミックな動きをしたり、走り回る子もいます。1歳児クラスの方に動のスペースは用意しているためそちらに誘いますが、0歳児クラスのほうがいいのか来ようとしません。どのような声掛けをしたらいいでしょうか。また1歳児クラスにどのような環境を用意したらいいでしょうか。(第43回)

年齢別保育と異年齢児保育についての質問

1. 自由遊び中、年長女兒は年下の子と一緒に遊び、同年の友達がいないと心配しています。主張が強い分、年下と一緒にの方が楽なようですが、同年女兒と友達関係を築くサポートはどのようにすればいいでしょうか。
(第33回)



2015年度 職域別セミナー
実践発表：さくらしんまち保育園

2.異年齢の子ども同士のトラブルは納得する術を持つ年長児と、納得しない年少児がいます。集団の中でのトラブルにピーステーブルがあると思うのですが、異年齢児保育を否定するわけではないが、対等平等の中での主張はどう考えればいいのですか。(第33回)

3.2歳児は大切な時期と言われていますが具体的にどのように大切なのでしょうか。(第33回)

4.1年目の保育士が見守る保育で大事にするのはどういった観点がありますか。喧嘩をしたときどれくらい見守るべきですか。また子どもにとって見守る保育はいいと思うのですが、職員間で話し合っていますが本音で話せずにあります。園長主任は保育経験があり出来て当たり前ですが、2・3年目の職員が理想の保育ができず子どもを兵隊みたいに指導していてどうすればいいですか。(第33回)

5.異年齢を始めてまだ半年余りですが遊びの中でルールが浸透しません。

2歳児には大人が知らせていくことが多いです。室内環境の中で「触らせてはいけないもの」を伝えていくにはどのように声をかければいいですか。また、子どもへ知らせ気づいて言ってもらう方法としてどう伝える方法がありますか。園児に対して保育室も十分あるわけではなく、お遊戯会前などは年齢別が続き異年齢との関わりが少ないのではと感じています。とくに年長児は就学前の第三保育期から卒園までの単独のクラスになり、新宿せいがはどのように文字数を教えていますか。私たちの園でも異年齢を大切にし、給食後に年長児が下の子をとんとんしにきたりしていますが、未満児と以上児の関わりがマンネリ化しているように感じています。新宿せいがでの関わりを教えてください。(第34回)

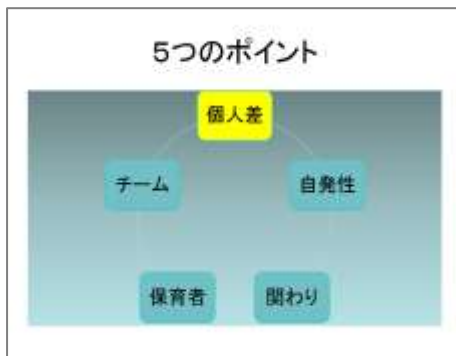
6.異年齢クラスで保育していく上で大切にしていることを知りたいです。(第35回)

7.3～5歳児で制作するときなど、どのようにされていますか。3歳と5歳でははさみやのりの使い方などできることが大きく違うため見本はいくつ用意されていますか。子どもたちは自分のできることを選択することが出来ますか。自園では課題を設定するときにとっても悩んでしまいます。

(第35回)



2016年度 第41回～第43回
保育環境セミナーパンフレット



2016年度 保育環境セミナー
見守る保育5つのポイント

8.2歳児だけ同年齢で1年間過ごす意味やメリットは何でしょうか。他のクラスとの関わりはどうなっているのでしょうか。(第35回)

9.幼稚園から2年前に認定こども園になったのですが、345歳児は午前中は幼稚園で幼児教育を幼稚園担任のもとで学び、14時の降園後から保育園籍と幼稚園のお預かりの園児を保育園舎で保育士、異年齢で展開しています。毎日メンバー、人数も違うため、子どもが落ち着かず、ゾーンづくりを心掛けていますが物が無い、思うように環境が作れないこともあり、日々どうしたらいいでしょうか。勉強の毎日です。午後の時間、夕方の過ごし方などで工夫する点、飽きずに遊べる環境設定の作り方でいい方法がありますか。(第37回)



2016年度 保育環境セミナー
GT活動報告

10.以上児クラスが何人までが(例えば100名まで)理想の見守る保育ができますか。移行するときには2歳児は以上児クラスをどのように捉えていくといいでしょうか。(第37回)

11.異年齢で生活しているのですが特に3歳と5歳との関わりを大切にしています。4歳は間でやってあげたいけど5歳の子よりも上手にできないしという微妙な位置にいるのかなと思います。そこでの4歳の子への関わりとしてどのようなものがよいのか教えてくださいませんか。(第37回)

12.感染症が発生した場合に異年齢の中ではどのような対応をしていますか。(第37回)

13.一日の活動の流れ(年齢別のほうがよりよい部分と異年齢のほうがよりよい部分)。朝のお集りから降園までを教えてくださいませんか。(第38回)

14.異年齢児保育の場合、歯磨きはどのようにしているのですか。(第38回)

15.新宿せいが保育園を見学させて頂いたとき、01歳の動き(活動や生活)が今の時点で別のように思いましたが、どのように一緒の流れ(その子の発達に合わせて)移行していきますか。0歳で発達の早い子だと、今の時期でも移行していくべきなのでしょうか。(第38回)

16.異年齢児保育と縦割り保育は違うと言われましたが、そのことについて詳しく説明をお願いします。(第39回)

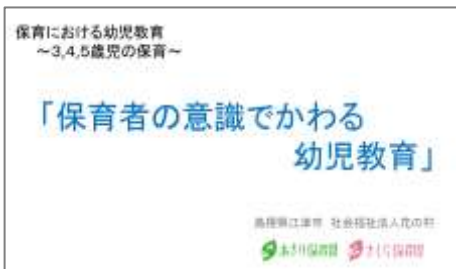


第41回保育環境セミナー
見学園紹介：新宿こだま保育園



第41回保育環境セミナー
実践園発表：いるま保育園

17.2歳児クラスの担任をしていますが、幼児クラスとの交流が増え、一緒に遊ぶなどしていますが幼児クラスと階が違うため中々交流できずにいます。また、一緒に部屋で活動することはあっても、乳児は見学、2歳が活動するといった様子に自然となってしまいます。今後、異年齢で活動をするに当たり、どうすればいいのか悩んでいます。もっと活動を乳児に向けてしていくべきなのでしょうか。(第39回)



第41回保育環境セミナー
GT活動報告：あさり保育園

18.現在01歳児で同じ保育室で保育をしていますが、活動は月齢や発達段階、そして、その日の体調や状態によってグループに分かれて活動をしています。時々、0歳は0歳、1歳は1歳で散歩に出かけたりと2つに分けて活動するときもあるのですが、どうしても月齢の差は大きいので、月齢が低い子やゆっくりペースが必要な子どもたちには、細かいグループでゆったりしっかりと子どもたちを見守り、発達を保障していくのが必要かなと思っています。異年齢保育の中で保育の仕方や活動などどのようにするとよいのか、他にもどんな保育をされているのか教えて頂けると嬉しいです。(第40回)

19.01、345歳児は異年齢として一緒に生活をしている園が多いと思いますが、2歳児は単独の年齢別保育のほうがいいのでしょうか。(第40回)

20.多い人数での異年齢児保育なので毎日が騒がしく落ち着きがありません。どうしたら落ち着いて過ごせるでしょうか。(第40回)



2016年度 保育環境セミナー
ミマモリングソフト紹介

21.選択活動をどのように取り入れていけばいいか迷っています。例えば散歩 or 室内と場所を選ぶだけになってしまったり、体制の都合で考えてしまうこともあります。また、年齢別活動をどのように取り入れたらいいのか教えてください。(第41回)

22.345歳児クラスでは、どんどん子どもの定員が増えていきます。子どもが落ち着ける集団の人数とは。ちなみに学校が25人程度(30人以下)と考えると、大きい集団はどうかかな。と考えています。(第41回)



2016年度

GTサミットパンフレット

23.4月から8:30~13:30のパートとして0歳の手伝いをしています。はじめて見守る保育を経験しています。理念には共感しますが6月中頃から01歳と一緒に過ごすようになり、見守りどころか子ども同士のもめごとが多く、片時も目を離せず子どもに絵本を読んでも向こうの子どもたちに目を向け、これは見張り保育だと心で叫んでいます。01の合同は見守る保育の園ではよくあることのようにですが私は賛成できません。本当に必要でしょうか。(第42回)

24.01歳で同じ空間で過ごしています。今は基本的な活動、ごはんなど01でわかれているのですが月齢でグループを作って過ごしたほうがいいのですか。(第42回)

25.これから異年齢児保育をどんどん取り組んでいくのですが、2~5歳の異年齢児保育をしています。その時の2歳の大切にしたい学びを保障しながら取り組んでいきたい。お伺いしたいのはその2歳児の大切にしないといけない部分を教えて頂けたらと思います。上の学年の姿を見ることはできるのはもちろんのこと、たくさん知りたいです。

行事についての質問

1.見守る保育を基本とし、子どもの主体性や異年齢児保育を大切にしながら取り組める行事のあり方について教えてください。(第37回)

2.運動会、発表会はどのように開いているのでしょうか。子ども主体の運動会を以前見に行きました。競技内容や会場設定に工夫が見られ、自分の園との違いに気づきました。例えば入退場門がない、3~5歳の異年齢競技がある、体育館で行っているなどでした。発表会も異年齢発表があるのかその点も教えて頂ければと思います。(第37回)

3.運動会の中で5歳児は毎年必ずマーチングと組体操を行っています。現状では運動会のための保育になっている部分があり、一斉保育に近い保育になっていることがあります。本心はマーチングなどしなくてもいいのでは…と思うのですが、そういうわけにもいかない部分がありマーチングをいかに見守る保育をしながら行うか悩んでいます。ある程度出来上がっているものを求められています。何か良い方法はないでしょうか。(第37回)



2016年度 GTサミット

講師：加藤様



2016年度 GTサミット
実践発表：伊佐沼すまいる保育園

4.現在私の勤める園では規模も大きく系列園での行事の統一化があり、日常生活でもまだ、見守る保育とは遠く及ばず、現場からの意見が通らないのが現状です。勉強に来ている分、子どもの成長にあった成長発表などは必要かと思いますが、変革は必要でしょうか。(第40回)

5.発達段階を考慮して各クラスで協議を決めたのですが、練習というものはほぼ全くなく、幼児クラスのダンスにおいては何となく、一つの場所に集まり踊るといった形でした。目標を設定し、子どもたちを目標に向けて指導して行くことは見守る保育の理念に反するというか間違っているのでしょうか。(第40回)

6.運動会や発表会など保護者の気持ちもくみ取りながら発達を見せていくためにはどのような声掛けをしていったらいいのでしょうか。(第40回)

7.運動会が近いのですが見守る保育をやる中で運動会への導入の仕方、どのような運動会にしていくべきですか。(遊戯を全員で練習したり、やらせるは自発的ではないようですし、見守る保育にはそぐわないか。)(第42回)

8.日常の保育で行っていることを組み合わせて、運動会や発表会につなげていくためのポイントや工夫を教えてください。(第43回)

食育についての質問

1.なかなか食べられない子に頑張ってという嫌いになるとおっしゃっていたと思いますが、何と声をかければいいのでしょうか。配膳は子どもたちで取りに行き、量を調整しています。ごちそうさままで間に合わなかったり、先に食べ終わる子もいます。食事のマナーが身に付かない、足を上げたり、スプーンで叩いたり、嫌いなものを捨てたりどうすればいいのでしょうか。(第33回)

2.調理や栄養士が保育士との役割を分かり合うために具体的にどのように進めていくのがいいのか教えてください。(第37回)

3.1歳を過ぎて好き嫌いが増えたT君。苦手なもののメニューは全く食べようとしません。無理強いはいしたくないけれど、苦手なものを一口でも食べてみようとする意欲は持ってほしいです。どう食事を食べられるようにしていったらいいのでしょうか。(第40回)



2016年度
第12回リーダー研修パンフレット



2016年度

職域別セミナーパンフレット



2016年度 職域別セミナー

実践発表：新宿せいが保育園

4.子どもと一緒に食事をする事で子どもが職員の様子を見ることで学ぶことが多いだろうと思いますが、職員にどう伝えと分かってもらえるでしょうか。(第40回)

5.給食おやつに対して「嫌いなものは食べさせないでください。」と申し入れをする保護者がいます。遠足の時も我が子が「お腹空いた」というとお弁当の時間の前に持参したおやつを与えていました。見学園でセミビュフェ方式で「自分で食べられる量を自分で選択できる」という方法を見て強い関心を持ちましたが、家庭でも食に対して子どものいいなりにして、園でも自由にしてしまうととても心配です。実際にその子は年長児でかなりの肥満です。大丈夫でしょうか。(第42回)

6.以上児クラスはセミバイキングをしています。たくさん少なくとも自分の意思を伝えられていますが、極端に小食な子(ごはん一粒、千切り野菜一本など)、偏食の多い子への対応に悩んでいます。どこまでゆるしていいのか、4月と比べて一口が二口になったらよしとするのか、年中ではどんな声掛けをするとその子のためになるのでしょうか。(第43回)

7.0歳児の担任をしています。給食中にいつも寝てしまう子がいます。どのようにしたら給食中に眠くならずに給食を完食できるでしょうか。(第43回)

保護者対応についての質問

1.保護者から運動面の発達の要望を聞くと怪我をなくと言われます。安全面を気にしていても怪我が発生しその場での関わりを説明しましたが、理解されず不本意な保育になってしまっています。見守る保育を行う上で保護者への説明のポイントと子どもの経験と安全管理のポイントを教えてください。(第33回)

2.お母さんからの要望で「鼻が出るから外で遊ばせないで、給食は少しに、昼寝は早く起こしてください」と保護者側からの要求をどうすればいいでしょうか。(第33回)

3.見守る保育の中でも怪我は起きてしまうものだと思いますが、どのように保護者へ話していったらよいのでしょうか。(第40回)

